検査員

考 査 項 目	細別	a	b	С	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
		□ ②施工計画書が工事着手前 設計図書の内容及び規場条 □ ③工事期間を通じて、施工言 □ ④現場条件又は計画内容に ことが確認できる。 □ ⑤工事材料を品質に影響が □ ⑤監督員による立会及び確 □ ⑦建設副産物の再利用等へ □ ⑧施工体制台 あ引き取りな行 □ ⑪工事関係書類を不足など □ ⑪土事関係書類を不足など □ ⑪社内の管理基準の設定、	:件を反映したものとなっていることが確請 計画書の記載内容と現場施工方法が一致 変更が生じた場合は、その都度当該工 無いよう保管していることが確認できる。 認(段階確認含む)を適切に行っているこ の取り組みを行っていることが確認できる。 系図を法令等に沿った内容で適確に整 成)検査を実施していることが確認できる 作成していることが確認できる。	れ、所定の項目が記載されているとともに、 認できる。 牧していることが確認できる。 事着手前に変更計画書を提出している ことが確認できる。 る。 備していることが確認できる。 る。 母容に基づき管理していることが確認でき	□ 施工管理について、監督 員が文書による改善指示 を行った。	□ 施工管理について、監督 員からの文書による改善 指示に従わなかった。
		●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	②「レ」 ③ 対象 ④ 評価 ⑤ なお	対象項目が当該工事において評価の対象となる 印を記入した項目について該当する場合は「判り 欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算 値(%) = 該当項目数()/評価対象項目数() 、評価対象項目数が図目以下の場合は。評価 、文書による改善指示を行った場合には、上記記	定」欄の□に「レ」印を記入する。 の値で評価する。 とする。	評価の対象とならない場合は空欄とする。

考查項目別運用表(土木工事)

考 査 項 目	□ a	□ a`	□ b	□ b`	□ c	□ d	□ e
 出来形及び出来ば え 出来形 	出来形の測定が、必 要な測定の測定に基 での項目に基 を で所さ行われれを値を 制定し、値が規格値をき 規格値の概ね50% 以内項で、下記の「評目 対象が 対象する。			要な測定項目につて所定の測定基準基づき行われており、測定値がそのばらるをある。 できが規格値ので表し、そのばにつきが規格値ので、下記	い 要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a~b'に該当しない。	は測定値が不適切で あったため、監督員が 文書で指示を行い改 善された。	□ 又は測定値が不適
	□ ②社内の管理基準に基 □ ③不可視部分の出来形 □ ④写真管理基準の管理	管理項目を満足し、出来形管理 もづき管理していることが確認 らが写真で確認できる。 理項目を満足している。 定められていない工種について	できる。	していることが確認できる。	① 出来形は、工事全般を通じて評 ② 出来形とは、設計図書に示され ③ 出来形管理とは、「土木工事施」 基づき所定の出来形を確保する ④ 出来形管理項目を設定していな ばらつきの判断ができない工事 ⑤ なお、文書による改善指示を行	た工事目的物の形状及び寸法をし 工管理基準」の測定項目、測定基 管理体系である。 い工事、又は試験結果の打点数 ³ は「c」評価とする。	準及び規格値に等が少なく(原則3点未満)

																検査員
考査項目	細別		a		a`		b		b`		С			d		e
3. 出来形及び出来ば え	-> 5U L#\#			結果のばらつきる				する。<判断基	準参照>					の測定方法 値が不適切		関係の測定方は測定値が不
Ⅱ. 品質	コンクリート構造 物工事		L	土木工事施工管 が50%以下 □			められた試験」 ばらつきが 80 9	くたませって ヤロ	+=+ 段幼田の+T	占粉学が小さ	-/			値が不過り ≤め、監督員		は例を値がか
11. 前貝	初工事			ハ30%以下 □ ばらつきの判断は		1%以下 □			K試験結果の打 断ができない場:		14			指示を行い		員が修補指示
		対象		より フラグナゴ南川は	小小瓜「多無		(原則0点不過	/はら フェの土庫	到り、ころない物	<u> </u>			改善された	= 0	行つ	<i>t</i> =。
				ートの配合試験	及び試験練りを	行っており.コン	クリートの品質	強度•w/c. 最	大骨材粒径、均	点化物総量	单位水量,					
				材反応抑制等)		111	, , , , , , , , , , , ,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	., .,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							
			□ ②コンクリ	ート受け入れ時に	こ必要な試験を	実施しており、	温度、スランプ、	空気量等の測定	定結果が確認で	きる。						
				度試験に使用した												
				件や気象条件に				り方法が、定め	られた条件を		象項目が当該工				こは「対象」欄の	の口に「レ」印を
				ハることが確認で				-/D = 6 T= 11 H I			評価の対象となら					
				Iートの圧縮強度な 「確認できる。	を官埋し、必要	な強度に達した	後に型枠及びる	保工の取り外し	~を行って		を記入した項目に に「レ」印のある項					記入する。
		П		ヾ唯認できる。 Iートの打設前に、	tT紗ギ日加田	た 済切に 行って	コンスーレが溶詞	でキス			(%)=該当項目				計画する。	
				、一つり、設別に、 品質が、証明書類			. いることが推動	CC0.			平価対象項目数が					
		_		ート打設までに鉛		•	付着しないよう	管理していること	・が確認できる。	⑥ また、3	と書による改善指	示を行っ	た場合には、	上記評価によ	らずd、e評価	fiとする。
				組立及び加工が												
				業にあたり、作業						_	to the case	ļ				
				ートの養生が、説				る。		•	判断基準		1£	らつきで判断可	省に	判断
				サーの材質及びよ	品質が適正であ	ることが確認で	きる。						50%以下	80%以下	80%超える	
		_	□ ③有害な· □ ④その他	クラックが無い。		,					90%以		a	a`	b	b
			山 (すての) 世	(连田		,				評	価値 75%以上90 60%以上75		a` h	b,	b)	p,
											60%未		p,	c	c	6
										*	試験結果の打点	数等が少	なく(原則3点	未満) ばらつきの	判断ができない	八場合
	細別		a		a`		b		b`		С			d		e BB to a total to
	土工事	i i		結果のばらつきる 土木工事施工管				する。<判断基	準参照>					の測定方法値が不適切		関係の測定方は測定値が不
	工工 事 (切土、盛土、堤		L	エイエ サ 旭エ官 が50%以下 □				6を越える ▽け	h試験結里の打	占数等が小が	i (とめ、監督員		であったため、
	防等工事)		_	ばらつきの判断は					断ができない場		• `			指示を行い		員が修補指示
		対象		0.3-6.114110	-3314W : 25 MK		(M/X) = M(×) (M)	710.5 - 6 - 7 11	4110 CC 0.0 19				改善され <i>†</i>	Ξ.	行つ	<i>t</i> =。
			□ ①雨水に	よる崩壊が起こら	ないように、排	水対策を実施し	ていることが確	認できる。								
		_		を設計図書に基づ						① 評価対象	項目が当該工事	において	で評価の対象	とかる場合にし	ナ「対象」欄の	口に「レ」的を
		_		のための掘削を行					確認できる。		『価の対象となら』				Q . V 1 2V 1 W 4 >	346.010
		_		が設計図書に定ん たりのまき出し厚						②「レ」印を	記入した項目につ	ついて該	当する場合は	・ 「判定」欄の[コに「レ」印を記	記入する。
				たりのまざ出し序 及び種子吹付をi							「レ」印のある項				呼価する。	
		_	_	周辺の締固めを							%) = 該当項目数					
			O	の土質が設計図				##### CC 00		O	画対象項目数が2 書による改善指示				こざる「評価」	トオス
			□ 9CBR討	(験などの品質管	理に必要な試験	険を行っているこ	ことが確認できる	۰		⊕ \$/X	まによる(以合用が	וכ נו בי	_物口ICIG、1		. u、ent im c	_ 9 %
		_		有害な亀裂が無し						•	判断基準	ļ			!	
				根作業が設計図	書に定められた	-条件を満足して	ていることが確認	!できる。						らつきで判断可		判断
			□ ⑫その他	(埋由)				<u> </u>	نا %09		50%以下	80%以下	80%超える	
											750/ N Loc		a`	a` b	p,	b)
										青平	価値 60%以上75		b	p,	G	c
										L.	60%未		b)	G	G Valler L'arrabata	C
										;	《 試験結果の打点	数等が少	2なく(原則3点:	未満)ばらつきの) 判断ができな	い場合

											ħ	食査員
□ a	□ a`		b		b`		С		d			e
関連基準、土	木工事施工管理基準、その の%以下 □ ばらつきが らつきの判断は別紙1参照 を平滑に仕上げていることが び胴込めコンクリートの締 ひり、石積(張)、法枠、かご よう行っていることが確認で エにおいて、大きさ及び重さ 端部や曲線部の処理が適む	他設計図書に元 80%以下 □ が確認できる。 固めを、空隙が生 マット等における きる。 きが設計図書のた 切であり、必要な	Eめられた試験 ばらつきが80%を (原則3点未満) じないよう十分に行材料のかみ合わせ 士様を満足している 強度及び水密性を	を越える。又はばらつきの判断でいることかでいることが確認でき	試験結果の打ができない場 が確認できる。 切であり、裏込 もる。 とが確認できる	合 込材の吸		」 ヌでか	スは測定値が きあったため、 が文書で指示	不適切 監督員	- 法又は派 適切であ	系の測定方 則定値が不 5つたため、 が修補指示を
できる。	、植生の種類、品質、配合及 水制工、沈床工、捨石工等/ ることが確認できる。 の品質が、証明書類で確認 おいて、掘り過ぎが無く施工 トブロック等を損傷無く設置	なび養生が、設計 こおいて、材料の けできる。 こしていることが確していることが確していることが確	ト図書の仕様を満足の連結及びかみ合わ 連結及びかみ合わ 確認できる。 ないまる。	こった。 ことが設計図書	が確認できる。 ・の仕様を	印を記入 ②「レ」印を ③ 対象欄に ④ 評価値(⑤ なお、評	し、評価の対象と 記入した項目にで 「レ」印のある項 %)=該当項目数 西対象項目数が	ならない ^は ついて該当 目数を分f 数()/評f 2項目以下	場合は空欄とる 当する場合は「 母として比例計 価対象項目数 Fの場合はc評	する。 判定」欄の[ト算の値で評 () ・価とする。	コに「レ」印を記 呼価する。	入する
□ □ ③ ③ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	料について、設計図書の仕た ラックが無い。				ॅं ठे	# *	90%以 75%以上9 60%以上7 60%を	0%未満 5%未満 未満	50%以下 a a` b	80%以下 a` b b` c	80% 超える b b` c	判断 不可能※ b b' c
	品質関係の試験: 土	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項 「関連基準、土木工事施工管理基準、その 「ばらつきが50%以下 」 ばらつきが ※ ばらつきの判断は別紙1参照 対象 判定	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況() [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に見しばらつきが50%以下 はらつきが80%以下 対60つきが50%以下 はらつきが80%以下 対700分割 が20分割 が20	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断す [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきが\$0%以下 □ ばらつきが80%以下 □ がらっきの判断は別紙1参照 (原則3点未満)対象 判定 □ ①施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 □ ②裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行 □ ③緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ 田しが無いよう行っていることが確認できる。 □ ④石積(張) 工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足している ⑤護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を □ ⑥遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様できる。 □ ①植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ ③根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合れ満足していることが確認できる。 □ ①事産礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 □ ①事産機工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 □ ①が理戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ ①が理戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ ①が理戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ ①を表述にあたって、床掘箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工している □ ①を見りが無い。 □ ①を見りが表述できる。 □ □ ○を見りが表述できる。 □ □ ○を見りが表述を表述を見りが表述できる。 □ □ ○を見りが表述を見りが表述を見りが表述を見りまする。 □ □ ○を見りが表述を見りが表述を見りが表述を見りが表述を見りませる。 □ □ ○を見りが表述を見りが表述を見りませる。 □ □ ○を見りが表述を見りが表述を見りが表述を見りませる。 □ □ ○を見りが表述を見りが表述を見りが表述を見りませる。 □ □ ○を見りが表述を見りが表述を見りませる。 □ □ ○を見りが表述を見りが表述を見りませる。 □ □ ○を見りが表述を見りませる。 □ □ ○を見りが表述を見りが表述を見りませる。 □ □ ○を見りが表述を見りが表述を見りませる。 □ □ ○を見りが表述を見りが表述を見りませる。 □ □ ○を見りが表述を見りが表述を見りませる。 □ ○を見りが表述を見りがありませる。 □ ○を見りが表述を見りが表述を見りが表述を見りませる。 □ ○を見りが表述を見りがありませる。 □ ○を見りが表述を見りがありませる。 □ ○を見りがありが表述を見りがありませる。 □ ○を見りがありがありませる。 □ ○を見りがありませる。 □ □ ○を見りがありませる。 □ ○を見りがありませる。 □ ○を見りがありませる。 □ ○を見りがえばる。 □ ○を見りがえる。 □ ○を見りがえばるる。 □ ○を見りがえばる。 □ ○を見りがえばる。 □ ○を見りがえばるる。 □ ○を見りがえばる。	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基:	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] □ ばらつきが\$0%以下 □ ばらつきが80%以下 □ ばらつきが80%を越える。又は試験結果の打 ※ ばらつきの判断は別紙1参照 (原則3点未満)ばらつきの判断ができない場 対象 判定 □ ① 他工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 □ ②裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 □ ③緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が適切であり、裏近出しが無いよう行っていることが確認できる。 □ ④石積(張) 工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ ⑤護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 □ ⑤進水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ ① 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ ① 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ ② 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 □ □ ① 非定材料の品質が、証明書類で確認できる。 □ □ ① 非定材料の品質が、証明書類で確認できる。 □ □ ① 非定材料の品質が、証明書類で確認できる。 □ □ ① 即立クリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 □ □ ① 加コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 □ □ ① 加工にあたって、床掘箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 □ ① 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] □ ばらつきが50%以下 □ ばらつきが80%を越える。又は試験結果の打点数等が少なく ※ ばらつきの判断は別紙1参照 (原則3点未満)ばらつきの判断ができない場合 対象 判定 □ ①施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 □ ②裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 □ ③線化プロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が適切であり、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 □ ③ 石積(張) エにおいて、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ ⑤護岸エの端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 □ ⑤護岸エの端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 □ ⑥ 個を進工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ ① 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ ① 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 □ ① 11年定材料の品質が、証明書類で確認できる。 □ ① 11年定材料の品質が、証明書類で確認できる。 □ ① 11年度は対料の品質が、証明書類で確認できる。 □ ② 11年度値(② 3 対象側に② 3 対象側に③ 3 対象側に③ 3 対象側に④ 3 対象側に⑥ 3 なお、評(⑥ 3 なお、評)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験 ばらつきが50%以下	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験 はらつきが509%以下 ばらつきが80%以下 ばらつきが80%と起える。又は試験結果の打点数等が少なく ※ ばらつきの判断は別紙1参照 (原則3点未満)ばらつきの判断ができない場合 対象 判定 ①施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 ②裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 ③線化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が適切であり、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 ④石積(張) 工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑤護洋工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 ⑥進水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑦植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ②指電工、水油工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ③指電工、水油工、環境研究を認定していることが確認できる。 ②指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 ②指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 ②指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 ②指定対解にといることが確認できる。 ②加ま経工において、規り過ぎが無く施工していることが確認できる。 ②加ま経工において、規り過ぎが無く施工していることが確認できる。 ②加ま経理では認定できる。 ②加ま経理では認定できる。 ②加ま経理では認定できる。 ②加ま経理では認定できる。 ②加ま経理できる。 ②加ま経理できる。 ②加ま経理では認定できる。 ②加ま経理できる。 ②加ま経理できる。 ②加ま経理できる。 ②加ま経理できる。 ②加ま経理できる。 ②加ま経理できる。 ②加ま経理では認できる。 ②加ま経理できる。 ③加ま経理できる。 ③加ま経理できる。 ②加ま経理できる。 ③加ま経理できる。 ②加まを述れていると述れできる。 ○加まを述れていると述れできる。 ○加まを述れていると述をできる。 ②加まをできる。 ③加まをできる。 ③加まをできる。 ③加まをできる。 ③加まをできる。 ③加まをできる。 ③加まをできる。 ①加まをできる。 ①加まをできる。 ②加まをできる。 ②加まをできる。 ②加まをできる。 ③加まをできる。 ②加まをできる。 ②加まをで	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験	□ a □ a' □ b □ b □ c □ d □ 品質関係の試験結果のはらっきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> □ 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切であったため、監督員 法又は測定値が不適切であったため、監督員 法又は判定値が不適切であったため、監督員 が文書で指示を行い 被害のきの判断は別紙1参照 (原則3点未満)ばらつきの判断ができない場合 がよきつきの判断ができない場合 が表すで指示を行い 改善された。

																検査員	
考査項目	細別		a		a`		b		b`		С			d		e	
考査項目 3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	細 別 鋼橋工事 (RC床版工事は コンクリート構造 物に準ずる)	品質	[関連基準、土木、ばらの% がようの% がようの が がらの が がらつ ※ ばらつ 注	のばらない。 の工事施工以きの工 □ はいまから □ はいまから 一 はいまから 一 はいまから 一 はいまから で がいまいます で がいまれる で 第1 で で いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい	評価対象項目の 理基準、その他語 ばらつきが80% 削紙1参照 する書類型は認を 対の使用してられて 対別のではいいれて にいるとがにもれていれて にいるとがにもない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	受計図書に□□ 物にのは、物にない。 物にているできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるでは、 しょう はい	ばらつきが80%を (原則3点未満)」 合していることが確認 とが確認できる。 の仕様を満足してし	る。<判断基: を越える。又は ばらつきの判断 認できる。 いることが確認 していることが	単参照> 試験結果の打がができない場合 ができない場合 できる。 確認できる。	点数等が少なく 合			又は測定であったた	dの測定方法の測定方法である。 の測定方法である。 でが、監督に とおったでいい。 で、		検査員 を e の測定力 品質関係の測定が 法文はあったため 適切であったため 検査員が修補指列 行った。	不)、
		【架設関係 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	①その他(理由 系) ①ボルトの締締 ②高カ水の場所の ④高カ水が振行で ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	確認が実施を機及び付いました。 機力ので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、このでででで、ででではできる。びにはできる。びになったがした。このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	され、記録を保保 機器のキャリブル 中心から外側に 月書類で確認でチット あっと変形等を 学な設用機材にご 葉厚管理を適切	管しているこの レーションを到 に向かって行きる。 が及び仕上け 十分検討して いて品質、	手月日、ロット番号、とが確認できる。 実施していることがでいることが確認できる。 でのていることが確認できるがないることが確認できる。 性能が確保できるよ	確認できる。 8できる。 かいていることが きる。 見模及び強度を	が確認できる。	記入し、評 ②「レ」印を記 ③ 対象欄に(9 ⑤ すな、評 ⑥ また、文書	価の対象となら記入した項目に「レリロのある項目に「レリロのある項目」 が対象項目動が象項目数が違いよる改善指定	ない場にはない場にはない。 はない はない はない はない はい	合は空欄とする場合 を当する場合 分母をして比 野田の場合には、 た場合には、 50%以下 a a b	る。 は「判定」欄の例計算の値で 引数() に評価とする。 上記評価によ らつきで判断可 80%以下 a' b b'	ロに「レ 評価する らずd、6 能 80% 超 b b	判断	11.

															検	査員
考査項目	細別		a 🗆	a`		b		b`		С			d			e
3. 出来形及び出来ば え Ⅱ. 品質	砂防構造物工事 及び地すべり防 止工事(集水井 戸工事を含む)	対象 判定 【共通】 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	係の試験結果のばらつき。 連基準、土木工事施工管	F理基準、その他記 」ばらつきが80% は別紙1参照 及び試験練りを行 に必要な試験を実 に必要な試験を実 た高さ、締り一時のハ 確認できる。(寒中	受計図書に定め 6以下 □ (っており、コンク 施しており、温 体が、当ちの根 っ及び暑中コン・	られた試験 ぱらつきが80% で 原則3点未満) パリートの品質(は 度、スランプ、空 場の供び(養生) クリート等を含む	E越える。又は試 またのきの判断が は度・w/c、最大 は気量等の測定 ることが確認でき またが、施工条件が ことが、	験結果の打点ができない場合 骨材粒径、塩 音果が確認でき そる。 及び気象条件	化物総量、単位 きる。 に適しており、定	こめられた	Ш	又は測定であったた	の測定方法 値が不 E B E B E B E E B E B E B B B B B B B	□ ½ i t	去又は測 適切であっ	の測定方 定値が不ったため、 修補指示を
			6地山との取り合わせを通り 一致筋及び鋼材の品質が 多有害なクラックが無い。 多その他(理由 の の の の の の の の の の の の の	適切に行っているこ 、証明書類で確認 、記・油等の有害特 、設計図書の仕様 げていることが確誰 十図書の仕様を満	ことが確認できる。 できる。) 物が、鉄筋に付 をあ満足している 認できる。 足していることが	着しないよう管: ることが確認できる。	里していることが		① 評価対象項	目が当該工事は の対象とならな 入した項目につい」のある項目 シ」のある項目数 対象項目数が2	い場合 いて該 数を分 ()/評 項目以	は空欄とす 当する場合()母として比例 「価対象項目 下の場合は	る。 は「判定」欄の 列計算の値で I数() c評価とする。	口に「レ」 評価する	印を記入 ^っ 。	する。
			③ボルトの締付機及び測り ⑥ボルトの締付機及び測り 『エ事〈抑止杭・集水井戸エ』 ①アンカーの施工が、設計 ②ライナープレートの組み ③ライナープレートと地山。 ④集・排水ボーリングエの ⑤その他〈理由	定機器のキャリブレ 事を含む)】 十図書の仕様を満り 立てにあたり、偏り との隙間が少なくな	レーションを実が) 足していることが 心と歪みに配慮 なるように施工し	をしていることが が確認できる。	ることが確認でき 認できる。		● 判断。	90%以上 75%以上90%。 60%以上75% 60%未満 60%未満 60%未満 60%未満	未満未満	50%以下 a a` b	らつきで判断可 80%以下 a' b b' c た 未満)ばらつきの	80%超 b b` c	える 不可 L	断 能:* b b' C C

考 査 項 目	細別		a		a`		b		b`		c		d				e
3. 出来形及び出来ば		品質問	8係の試験結	果のばらつきと	評価対象項目	の履行状況(言	評価値)から判断す	る。<判断基準	参照>	•		<u> </u>	品質関係の源	測定方法		品質関係	の測定方
え	舗装工事	1	関連基準、土	木工事施工管理	里基準、その他	設計図書に定	≧められた試験]						又は測定値が				定値が不
Ⅱ. 品質	·	П,	ばらつきが5	0%以下 □	ばらつきが80	%以下 □	ばらつきが80%を	対える。又は試	は験結果の打点	点数等が少なく			であったため				ったため、
		_	※ ばら	つきの判断は気	引紙1参昭	_	(原則3点未満)(ずらつきの判断が	ができない場合	<u>}</u>			が文書で指え				修補指示を
		対象 判定	/K 101.) - C +> 1	334EV - 55 MK		(MIXIO METINA)	0.2 - C -> 114 11	- CC 0.0 M			ī	改善された。		ŕ	うった。	
		【路床 路幣	₹ 丁朗 伭【														
				に中めこれた試	除士はでつり	0値を測空! で	いることが確認でき	- Z									
							とが確認できる。	' യം									
			OFFICE .				こが確認できる。 足していることが確	アラフ・ナーフ									
			OFFICE .														
			O				ることが確認できる。			4-m 4-7							
							及び有害物を除る										
			O-H-1-				し、各層ごとに締										
			O-H-1-	において、構造	物の隣接箇所	や狭い箇所に	おける締固めが、タ	シバ等の小型約	帝固め機械に。	より施工している	ことが確認						
			できる。														
			⑧その他(理	曲)											
			∼舗装工関係】														
			①アスファル	小混合物の品質	ξが、配合設計	-及び試験練り	の結果又は事前審	査制度の証明	書類により確認	忍できる。							
			②舗装工の	施工にあたって	、上層路盤面(の浮き石などの)有害物を除去して	いることが確認	できる。								
			③プラント出	荷時、現場到着	時、舗設時、3	交通開放時等/	において、アスファ	ルト混合物の温	度管理を記録	していることが確	寉認できる。						
			④舗設後の	交通開放が、定	められた条件	を満足している	ことが確認できる。										
			⑤各層の継	ぎ目の位置が、	設計図書に定	められた数値」	以上であることが確	ඎできる。									
			⑥縦継目及	び横継目の位置	量、構造物との	接合面の処理	等が、設計図書の	仕様を満足して	いることが確認	忍できる。							
			(7)アスファル	小混合物の運搬	吸及び舗設にあ	たって、気象	条件を配慮している	ことが確認でき	る。								
				が設計図書の仕					- 0	① 評値	面対象項目が当該	女工事に お	おいて評価の対	象となる場合	には「対象	象」欄の口に	に「レ」印を
			9その他(理)				記入	し、評価の対象と	ならない	場合は空欄とす	する。			
			@ C ** L **			,				② 「レ	」印を記入した項目	目につい	て該当する場合	おは「判定」欄の	の口に「レ	/」印を記入	、する。
		「コンクリート	舗装工関係】								象欄に「レ」印のあ				で評価する	る。	
				トの配合試験及	パ討騇紬りを	行っておりっこ	ノクリートの品質(強	re・w/c 最大	骨材粒径 恒		面値(%)=該当功						
				単位水量、アルナ				./2 **/ 0(42/)	. 13 12 12 (-111	3 44	お、評価対象項目					5∓/∓ L.+	7
							ちょう 有害物を除去してた	、広悔T アハス	ニレが確認で		と、文書による改善	雪相示を1	けつに場合には	、上記評1回1~	.J. 5 9 a.	e==1m < 9	ବം
							温度、スランプ、空										
							供試体であることが				判断基準						
			O 32-11-41-11-11-1				気象条件に適してお		ウムこれも名	_#+			۱ď	らつきで判断	可能		判断
				うしてはカムスので		也工术什么い?	4.多米什に廻して	り、改訂凶音に	- 足のりれた米	:1+			50%以下	80%以下	80%	超える	不可能※
						コーナンスーしょ	ジアケミカーベーキフ				90%以		a	a`		b	b
				離しないようコン				コーナフ		評価	西値 75%以上90		a`	b		b,	p,
			O		制物などか発生	しないよう保管	管していることが確認	忍じざる。			60%以上75		b)	p,	_	C	C C
			⑧その他(理	出)					試験結果の打点						
										~	I STREET		(() () () ()	.,.,.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	-5 13-9170		~-

																	食査員
考査項目	細別		a		a`		b		b`		С			d			e
3. 出来形及び出来ば え Ⅱ. 品質	法面工事		[関連基準、± ばらつきが! ※ ば	上木工事施工管	理基準、その 」ばらつきが8	他設計図書に定	評価値)から判断 Eめられた試験] ばらつきが809 (原則3点未満		は試験結果の打		<		口ってか	は関係の測なは測定値がであったため、 であったため、 で文書で指示で できされた。	不適切 監督員	□ 法又は 適切で	系の測定方 則定値が不 あったため、 が修補指示を
		【共通】 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	①施工基面 ②施工に際 ③盛土の施	して、品質に害 近工にあたり、法 る崩壊が起こら	ことなる施工面 表面の崩壊が起	の浮き石やゴミ こらないよう締	寺に法枠工、コン・ 等を除去してから 固めを十分行っっ していることが確	施工しているこ ていることが確認	とが確認できる								
			①土壌試験 ②ネットなと ③ネットなと ④吹付け厚 ⑤使用する	での境界に隙間だが破損を生じていめいます。 さが均等である。 材料の種類、よりが定められた。	に反映している が生じていない ていないことが ることが確認で 品質、配合等か	きる。	きる。 様を満足している	ことが確認でき	÷る。								
			②金網の重 ③金網が破 ④吸水性の ⑤吹付け厚 ⑥吹付け厚	材料の種類、品 はね幅が、10cr を損を生じていた か吹付け面におり さが均等である さに応じて2層	m以上確保され いことが確認 いて、事前に吸 ることが確認で 以上に分割し	いていることが確 できる。 な水させてからが きる。 て施工している。	もエしていること <i>だ</i> ことが確認できる	が確認できる。									
		【現場打活	8不良箇所 9法肩の吹 ⑩その他(ま	fが生じないよう な付けにあたり、 理由 『レキャスト法枠	5跳ね返り材料 地山に沿って :エ含む)】	の処理を行って 巻き込んで施工)	該現場の供試体「いることが確認」 していることが確 していることが確	できる。 に認できる。		② ③ ④ ⑤	記入し、評 「レ」印を 対象欄に 評価値(⁹ なお、評価	「価の対象とな 記入した項目 「レ」印のある %)=該当項 西対象項目数	ならない場 について あ項目数を 目数()/ なが2項目	場合は空欄とする 該当する場合に を分母として比例 /評価対象項目 以下の場合は	る。 よ「判定」欄の 別計算の値で 数() ○評価とする。		入する。
			②アンカー ③現場養生 ④強度試験 ⑤枠内に空 ⑥層間には	を設計図書どおきが、設計図書ではいます。 設計図書ではに使用したコンツではないまとれていことが無いことがが無いことがが生じないよう	らりの長さで施え の仕様を満足で ハクリート供試け が確認できる。 が確認できる。	エしていることか するように実施さ 本が当該現場の		隺認できる。 とが確認できる。			● 判断基 評価値 ※ 試!!	90%以 75%以上90 60%以上75 60%未	0%未満 5%未満 ē満	50%以下 a a` b	らつきで判断 80%以下 a` b b' c 未満)ばらつき		p p
1												1					

															;	検査員
考 査 項 目	細 別		a		a`		b		b`		С		d			e
考査項目 3. 出来形及び出来ば え II. 品質	細 別 基礎工事及び地 盤改良工事	品質 □ 対象 判定	関係の試験結果 (関連基準、土木 ばらつきが509 ※ ばらつ : コンクリート・鋼管 ① 抗に損傷及 ② 既製杭の打 ③ 抗頭処理に	のばらつきと 工事施工管 6以下 □ 5きの判断は が鋼管井筒、 び補修痕が 止め管理の おいて、杭本	評価対象項目の 理基準、その他記 ばらつきが80% 別紙1参照 場所打、深礎等 無いことが確認で	D履行状況(記録 受計図書に定 6以下 □)】 だきる。 杭の施工管理ないことが確	ばらつきが80%3 (原則3点未満) (国の方法が整備される できる。		は試験結果の打 断ができない場	「点数等が少な 合		-	d 品質関係の別 又は測定値か であったため、 が文書で指示 改善された。	定方法 不適切 監督員	ー 品質関 ・ 品質関・ ・ 法又は 適切で	e 係の測定方 測定値が不 あったため、 が修補指示を
			⑤溶接の品質 ⑥支持地盤に ⑦場所打抗に ⑧掘削深度、表 いることが確認 ⑨配筋、スペー ⑩ライナープレ ⑪裏込材注入	管理に関して 達しているこ ついて、トレミ 非出土砂、孔 できる。 ーサーの配置 ・ートの組みュ の圧力などだ セメントミルク	、設計図書の仕 とが、掘削深さ、 、一管をコンクリー 内水位の変動及 しなびコンクリート 立てにあたり、偏 が施工記録により	様を満足して 掘削土砂等/ -ト内に2m以 び安定液を/ 打設等が、記 心と歪みに配 !確認できる。	ていることが確認で こより確認できる。 以上挿入して施工し 用いる場合の孔内 设計図書の仕様を 記慮して施工してい	ていることが の安定液濃度 満足しているこ ることが確認	を を できる。	る。 ② できる。 ④ ⑤	すを満足して) 評価対象項目が当 記入し、評価の対な項 にしい評価の対な項) 対象欄に「レ」的) 評価値(%)=該当 () 評価値(%)=該当 () また、実価よる は	とならない 頁目につい ある項目 ら項目数(目数が2項目 数が2項目	い場合は空欄とすいて該当する場合 数を分母として比り)/評価対象項目 頁目以下の場合は	る。 ま「判定」欄の 列計算の値で! 数() c評価とする。	□に「レ」印を訂 平価する。	己入する。
		【地盤改良	①改良材のバー ②セメントミルグ ③事前に土質 ④施工箇所が	クの比重、ス 試験を実施し 均一に改良る	ラリー噴出量、強ノ、改良材の選定	度等の管理 、必要添加量	様を満足しているこ 資料を整理してい 量の設定等を行って 度及び支持力を確	ることが確認でいることが確	できる。 認できる。	·	評価値 75%以 60%以 60%以	%以上 E90%未; E75%未; %未满 行点数等;	50%以下 a 滿 a`	らつきで判断 80%以下 a' b b' c 未満)ばらつき	80%超える b b` c	b) c

						-											検査	員
考 査 項 目	細 別		a		a`		b		b`		С			d			e	;
3. 出来形及び出来ば え Ⅱ. 品質	コンクリート橋上 部工事(PC及び RCを対象)	_	[関連基準、土オ ばらつきが50 ※ ばら	大工事施工管	上評価対象項目の理基準、その他記 理基準、その他記 ばらつきが809 :別紙1参照	没計図書に定	定められた試験] ばらつきが80	%を越える。又	基準参照> は試験結果の打 判断ができない場		なく		1 5 t	品質関係の測 な制定値が であったため、 が文書で指示 女善された。	不適切 監督員		品質関係の 去又は測定 適切であった 食査員が修 行った。	≧値が不 たため、
			カリ骨 オタリー オタリー オタリー オタリー オタリー イタリー 発生 生き から かい	抑制等)が確認の場合のでは、 かい	認できる。 こ必要な試験を実 こコンクリートの供 適した運搬時間、 等を含む) を管理して、必要 更で確認できる。 げ強度の試験値	R施しており、当 は試計 は は は は は は は は な な な 、 設 が い 物 が い り い に は い に い き い き い も い も 、 も い も い る し る し る し る し る し る し る し る し る し る	温度、スランプは該現場の供試は入高さ及び締固 した後に型枠及は 書の仕様を満足しに付着しないよう ことが確認でき いることが確認でき ることが確認でき	、空気量等の源なであることがでめたが、定め方法が、定とび文保工の取り、していることがを管理していることできる。できる。	かられた条件を満 リ外しを行っている 確認できる。 ことが確認できる。	きる。 足しているこ らことが確認 (3)	できる。 ① 評価対象 評別 対象価値(9 対象価値(9 なお、評価ない) なお に評価 (1 なお に 評価 (1 なお に) に かいままままままままままままままままままままままままままままままままままま	できる。 項目が対象で 当家と目が対象で 1000 にいい	ならない 目について る項目数 ()。 数が2項目 数が2項目	いて評価の対象 景合は空欄セネ 該当する場合に を分母として比を /評価対象項目 は下の場合は、	る。 は「判定」欄の 引計算の値で 数() シ評価とする。	Dロに「レ 『評価する	ノ」印を記入す る。	する。
			(4)使用する装(5)PC鋼材の(6)プレストレッ	置及び機器の 緊張及びグラッシング時のコ ・圧縮強度のでいるが無い。	クション管理が、。 のキャリプレーショ ウトリート圧縮強 コンクリート圧縮強 確認は、構造物と	ョンを事前に が、設計図書 食度が、設計	実施しているこ。 『の仕様を満足し 図書の仕様を満	とが確認できる していることが研 i足していること	。 笙認できる。	できる。	● 判断基 評価値 ※ 試馬	90%」 75%以上9 60%以上7 60%;	90%未満 75%未満 未満	ば 50%以下 a a` b b' b' 少なく(原則3点5	らつきで判断 80%以下 a` b b` c c 未満)ばらつる	80	с р,	判断 不可能※ b b' c c

検査員

考查項目 細別 П П С П 出来形及び出来ば 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 品質関係の測定方法 品質関係の測定方 П ラ 塗装工事 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 又は測定値が不適切 法又は測定値が不 Ⅱ.品質 ばらつきが50%以下 口 ばらつきが80%以下 口 ばらつきが80%を越える。又は試験結果の打点数等が少なく であったため、監督員 適切であったため、 が文書で指示を行い 検査員が修補指示を (原則3点未満)ばらつきの判断ができない場合 ※ ばらつきの判断は別紙1参照 改善された。 行った。 対象 判定 П ①塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 ① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を П ②ケレンを入念に実施していることが確認できる。 記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 \Box ③天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 ②「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 Ē ④塗料を使用前に撹拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 П ⑤鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 ④ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数() ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。 П ⑦塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 ⑧溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 ⑤参料の品質が出荷証明書、参料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 □ ⑩その他(理由 ● 判断基準 ばらつきで判断可能 不可能※ 50%以下 80%以下 80%超える 4 以%06 h 75%以上90%未満 評価値 60%以上75%未満 С 60%未満 ※ 試験結果の打点教等が少なく(原則3点未満)ばらつきの判断ができない場合 細別 П П П c 品質関係の測定方 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 品質関係の測定方法 П П 又は測定値が不適切 法又は測定値が不 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] トンネルエ事 であったため、監督員 適切であったため、 □ ばらつきが50%以下 □ ばらつきが80%以下 □ ばらつきが80%を越える。又は試験結果の打点数等が少なく が文書で指示を行い 検査員が修補指示を ※ ばらつきの判断は別紙1参昭 (原則3点未満)ばらつきの判断ができない場合 改善された。 行った。 対象 判定 □ ①コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アル カリ骨材反応抑制等)が確認できる。 П ②コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 ① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を П ③圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 □ ④施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが П ②「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 確認できる。 ④ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数() (5)吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種別、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 (⑥設計図書に定められた岩区分(支保エパターン含む)の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。 ⑦坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 П ⑧計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。 ● 判断基準 П ⑨金網の継ぎ目を15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。 ばらつきで判断可能 判断 П ⑩吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山 80%以下 80%超える 不可能※ 50%以下 と密着するよう施工していることが確認できる。 90%以上 h П ①吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。 75%以上90%未満 a` þ, 評価値 60%以上75%未満 ①ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 h С 60%未満 П С ③防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行って ※ 試験結果の打点数等が少なく(原則3点未満)ばらつきの判断ができない場合 いることが確認できる。 \Box ④逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継目が同一線上で施工していないことが確認できる。 (15)その他(理由

桳杏昌

+ + = =	ć- 5:1																					
考查項目	細別						a`			b			b`		(:		d				e
3. 出来形及び出来ば			品質関係0)試験結集	艮のばら	つきと評価	西対象項目	の履行状	∵況(評価	面値)から判し	折する。<	判断基準	参照>					品質関係の		ΙП		の測定方
え	公園工事		[関連:	ま進. 十オ	トT事施	丁管理基	進っその他	設計図書	まに定め	られた試験								又は測定値	が不適切	_	法又は測	定値が不
Ⅱ. 品質												ス マル 計	験結果の打	占粉生+	S/1>ナン/			であったため)、監督員		適切であ	ったため、
世. 吅具			_ I&5					70以1							ショ			が文書で指				修補指示を
				※ ほら	つざの判	断は別紙	门参照		(,	原則3点未活	歯) はらつる	さの判断か	「できない場	台				改善された。			行った。	19/10 Im 16/10
		対象																以古でれた。			11 2/20	
			□ ①∉	用材料の)品質規	格証明書	等が整備さ	れ, 設計	図書のよ	品質を満足し	ていること	-が確認で	きる									
		Ē								が確認でき					① W###	会情日が坐	はて車/	おいて評価の対	会したる坦く	×1-1+[:	は毎」間の口	1-[1.1ED&
		Ħ	-~									+ 7								11-141)	内家」懶の口	ICI DI HISE
										っていること	か惟認で	さる						場合は空欄とす		I	Fr crost and	7
							施されてい											て該当する場合				(する。
			□ ⑤坦	戻し、締[固めが適	適切に実施	られている	ことが確	認できる	5								女を分母として比		で評価	りる。	
			□ ⑥製	品及716部	R品等が	堅固に取り	り付けられ	ていること	レが確認	できる								/評価対象項		_		
		▤					書に適合し											目以下の場合に				
			_ •							– .					⑥ また、ジ	て書による改	善指示を	行った場合には	、上記評価に	こよらず	d、e評価とす	·る。
						况か仕様	書に適合し	ているこ	とか催認	まできる							1					
			□ ⊚₹	の他(理	由												J			l		
															● 判断	基準						
																			ばらつきで判			判断
																		50%以下	80%以	下 8	10%超える	不可能※
																	以上	а	a`		b	b
															評価値	75%以上			b		þ,	p,
															01.100.18	60%以上	75%未灌	b b	b`		С	С
																	未満	b,	С		С	С
															₩ 1	試験結果の打	「点数等が	少なく(原則3点	(未満)ばらつ	きの判	断ができない	場合
																	1			ı		
	Am . Eu																					
	細別						a`			b			b`		(d				e
			品質関係0)試験結果	艮のばら゛	つきと評価	西対象項目	の履行状	∵況(評価	面値)から判算	折する。<	判断基準	参照>					品質関係の				の測定方
	電線共同溝工事		[関連:	ま準、土オ	トエ事施	工管理基	準、その他	設計図書	書に定め	られた試験〕							_	又は測定値	が不適切		法又は測	定値が不
			□ ばら	つきが50	%以下		らつきが80	%以下		ずらつきが80	%を越える	5. マは試	験結果の打	占数等#	ぶ小なく			であったため	、監督員		適切であ	ったため、
			_ 10.5			断は別紙		/02/					「できない場		7.61			が文書で指	示を行い		検査員が	修補指示を
		114	war 📥		フさの刊	倒 は別 孤	口参照		()	別の 木/	可/ほり ノ	シリナリ的リル	いじさない場				4	改善された。			行った。	
		対象	判定															J. L C			1, -, -,	
			□ ①指	定材料の)規格が、	、品質を証	E明する書類	質で確認	できる。													
			□ ②質	路の通過	闘試験を行	行っており	リ、試験結果	から全筐	箇所が導	通しているこ	とが確認	できる。										
			口 ③プ	ラント出る		場到着時.	舗設時.3	が温開放	時等にお	いて アス	ファルト混っ	今物の温度	度管理が記録	剝している	ることが確認	ā						
			でき		3.43(-50.	N T 1 1 - 1 (~ ~ ~ · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-, ,, , -0,		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	- 1/3 ч /ш/3	C	,, O C C	У—С 70 кд по	•						
					+-	o + ++ +	18 16 Mr. 1 -	4-71-1-	- 1	n+ / 2 /m / 5 1 . 1		·	127m=17	7	@ #T (T+1)	*-TD / * // 5	· - + · - ·	=== (= - +1	~ I to 7 IB A			- Ex cont
			_ 01				–						:が確認でき	- 0				いて評価の対		バーは、メ	可家」欄の口!	コレ川が
						おいて、隣	詳接する各に	フロックに	目違い	こよる段差及	ひ蛇行等	が無いよ	う敷設してい	ること				場合は空欄とす				
			が確	認できる	0													て該当する場合				.する。
			(6)坦	戻しにお	いて、設	計図書の	什様を満り	している	ことが確	笙認できる。								を分母として比		で評価す	「る。	
		Ē	= -							F坦性を確保	コ アハス:	- レボ波雷	できる					/評価対象項目				
			_ ·															目以下の場合は				
										:様を満足し			් බං		⑥ また、文	書による改	善指示を行	うった場合には	、上記評価に	よらずの	d、e評価とす	る。
			□ 9€	設置にお	いて、そ	れぞれの)管の最小的	曲げ半径	を満足し	ていることだ	「確認でき	る。					1					
			☐ (1) ₹	の他(理	由)								I			I		
															● 判断	基準		1				
																			ばらつきで 判証			判断
																_		50%以下	80%以	F 8	0%超える	不可能※
																90%		а	a`		b	b
															評価値	75%以上			b		p,	b`
															aT IW IE	60%以上	75%未満	b	b'		С	С
																60%	未満	p,	С		С	С
															* li	験結果の打	点数等が	少なく(原則3点	.未満)ばらつ	きの判	断ができない	場合
1															_							

検査員

考查項目 細別 П П П С П 出来形及び出来ば 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 品質関係の測定方法 品質関係の測定方 え ほ場整備工事 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 又は測定値が不適切 法又は測定値が不 Ⅱ.品質 ばらつきが50%以下 口 ばらつきが80%以下 口 ばらつきが80%を越える。又は試験結果の打点数等が少なく であったため、監督員 適切であったため、 が文書で指示を行い 検査員が修補指示を (原則3点未満)ばらつきの判断ができない場合 ※ ばらつきの判断は別紙1参照 改善された。 行った。 対象 判定 ①地区内の地表水及び地下水を排除しドライの状態で施工をしている。 П ②濁り等の防止に十分留意して施工している。 ③石礫、根株等が混入しないように適切に施工している。 Ē ④表土剥ぎ取り、基盤切盛、畦畔築立、基盤整地、表土整地、道路盛土等、適切に施工している。 ⑤進入路について耕作に支障がないように施工されている。 ⑥用・排水路の縦断勾配等については、ほ場面標高等を考慮して施工されている。 ① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を ⑦用・排水路の施工基面が平滑に仕上げられている。 記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ⑧用・排水路の法面のとおりがよい。 ②「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ⑨構造物側面の埋め戻しについて、適切に実施されている。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 П ⑩護岸等の根入れが図面どおり実施されていることが確認できる。 ④ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数() ⑪二次製品との取り付け部コンクリート構造物にきめ細かな施工がうかがえる。 ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。 ①二次製品の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 ③パイプラインの地盤面、基礎面に不陸が生じていないことが確認できる。 (4)パイプラインが所定の埋設深さに布設されており、適切な締固めを実施していることが確認できる。 ● 判断基準 П 15暗渠排水の施工にあたり、表土と基盤土の混合を防止していることが確認できる。 ばらつきで判断可能 (16)暗渠排水の被覆材の厚さを確保し、かつ管体を十分被覆していることが確認できる。 80%以下 不可能※ 50%以下 80% 超える Ħ Ħ ⑪暗渠排水管が所定の深さ及び勾配で布設されていることが確認できる。 90% 以 ト b П □ (18)その他(理由 75%以上90%未満 b' 評価値 60%以上75%未満 60%未満 С ※ 試験結果の打点数等が少なく(原則3点未満)ばらつきの判断ができない場合 細別 П 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 品質関係の測定方 品質関係の測定方法 П 又は測定値が不適切 法又は測定値が不 管水路工事 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] であったため、監督員 適切であったため、 □ ばらつきが50%以下 □ ばらつきが80%以下 □ ばらつきが80%を越える。又は試験結果の打点数等が少なく が文書で指示を行い 検査員が修補指示を ※ ばらつきの判断は別紙1参照 (原則3点未満)ばらつきの判断ができない場合 改善された。 行った。 対象 判定 □ ①中心線の通りがよい。 ②締固めが適切に実施されている。 ① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を П ③管の両側及び上面が均等に埋め戻されていることが確認できる。 記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 \Box ④地盤面、基礎面に不陸が生じていないことが確認できる。 ②「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比例計算の値で評価する。 ⑤管の吊り込み、据付の際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 П ④ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数() ⑥コンクリート構造物に、きめ細かな施工がうかがえる。 ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 П ⑦その他(理由 ⑥ また、文書による改善指示を行った場合には、上記評価によらずd、e評価とする。 ● 判断基準 ばらつきで判断可能 判断 50%以下 80%以下 80%超える 不可能※ 90%以上 h 75%以上90%未満 b` **輕不**循 60%以上75%未満 С 60%未満 ※ 試験結果の打点数等が少なく(原則3点未満)ばらつきの判断ができない場合

考査項目	細 別		a		a`		b		t	b`		С			d			e	
3. 出来形及び出来ば		品	質関係の試験	結果のばらつきと	:評価対象項目(の履行状況(語	評価値)から判断す	る。<判	断基準参	照>					品質関係の湯	則定方法	□ 品質	関係の測定	方
え	フィルダム、ため		[関連基準、	土木工事施工管	理基準、その他	設計図書に定	とめられた試験]							- :	又は測定値が			は測定値が	
Ⅱ. 品質	池工事	[」 ばらつきか	₹50%以下 □	ばらつきが809	%以下 □	ばらつきが80%	お越える。	又は試験	結果の打点	数等が	少なく			であったため			であったため	
1120				ばらつきの判断は			(原則3点未満)					- 0			が文書で指え	トを行い		員が修補指	示を
		対象 判		× 5 - C +> 114/100	731424 · 32 /M		(MXXIO MX)(MAI)	W-2 - C 0	07 1314175	CC-80 -81	-			ī	改善された。		行っ	た。	
				理及び盛り立てか	(適切に実施され	1 アハス													
				や堤体の締固めた			が確認できる				г			l					\neg
			@/J == ==	工が適切に実施											いて評価の対		には「対象」欄	の口に「レ」印	を
				エが週切に美胞 面及び法面が平済											場合は空欄とす				
						ている。									で該当する場合			を記入する。	
				策を行い、施工し	ている。										を分母として比		で評価する。		
				件を考慮した施工				_							∕評価対象項目 目以下の場合は				
							き適切に施工してい	る。							す以下の場合は、			エレナス	
				一トの供試体が旨	当該現場のもの	であることが存	確認できる。				Į	@ \$/2.X1	言による以言	当日小で1) フル物口には、		. A D y U , U at	皿とする。	
		ш	9その他	(理由)								l					
												● 判断書	在		1-	(らつきで判)	IS THE	判断	\neg
															50%以下	80%以			
													90%	D F	30701X [a`	b	b b	_
												評価値	75%以上9			b	p,	р,	\exists
												高平1曲1 년	60%以上:	75%未満	b	þ,	С	С	
													60%:		p,	С	С	С	
												※ 試!	験結果の打	点数等が	少なく(原則3点	未満)ばらつ	きの判断がで	きない場合	
	細 別		a		a`		b		t	b`		c			d			e	
		品	質関係の試験	結果のばらつきと	:評価対象項目(の履行状況(i	評価値)から判断す	る。<判	断基準参	照>					品質関係の源			関係の測定	
	コンクリート二次			土木工事施工管											又は測定値が			は測定値が	
	製品水路工事(L	[ぶらつきか	₹50%以下 □	ばらつきが809	%以下	ばらつきが80%	と越える。	又は試験	結果の打点	数等が	少なく			であったため			であったため	
	型、ボックスカル		※ 13	ばらつきの判断は	別紙1参照		(原則3点未満)	ずらつき (の判断がで	できない場合	ì				が文書で指え	下を行い		員が修補指	示を
	バート、ブロック	対象 判	定											1	改善された。		行っ	<i>T</i> =。	
	積み水路等)			紫の整形, 湧水如	『理等が適切に	実施されてい	ることが確認できる												
							を払っていることが		る										
				等の仮設工が適り															
				の根入れが図面							_								
				一ト構造物に、き								① 評価対象	項目が当該	江事にお	いて評価の対象	象となる場合	には「対象」欄	の口に「レ」印	を
							固めが適切に実施	されてい	スニとが確	図できる		記入し、評	価の対象と	ならないは	場合は空欄とす	る。			
				国整、取付けコング の				C 110 C 0	U						該当する場合			を記入する。	
			□ 8漏水等:	が発生しておらず	水路の機能を	満足している	10 0.0								を分母として比		で評価する。		
			回線日部	の目地モルタルカ	、流出の成形と	17いろ	,								/評価対象項目				
		a i	□ ⑩その他	7日心 こんグルグ	1 2 3 1 C 1 C 1)									以下の場合は った場合には、			≖ l. -+ 7	
				. ~= ш		,					L	◎ また、又書	ことの以前	計用小で1」	つに場合には、	上記計1回に	より 9 a、e計1	叫 こり る。	
												● 判断基	進						
																らつきで判断		判断	.
														b.I. I	50%以下	80%以7			*
													90% J		a	a`	b	b)	\dashv
												評価値	75%以上9 60%以上7		a` b	p,	p,	C B	+
													60% IX E /		p,	6	6	6	\dashv
												※ 試馬			りなく(原則3点				

考査項目	細別		a		a`			b		b`			С			d				e
3. 出来形及び出来ば		品質	関係の試験	結果のばらて	つきと評価対象項	目の履行	状況(評	価値)から判断	する。<判断	ī基準参照>						品質関係の測			品質関係の	
え	下水道工事(開				L管理基準、その											又は測定値が			法又は測	
Ⅱ.品質	削)				□ ばらつきた	Ň80%以下		ばらつきが80%	がを越える。フ	スは試験結果	見の打点	数等が少な	:<			であったため、			適切であっ	
				ばらつきの判認	断は別紙1参照			(原則3点未満)ばらつきの	判断ができな	い場合					が文書で指示改善された。	を行い		検査員が作 行った。	修補指示さ
		対象 判定														以告でれた。			11 7/20	
					格、品質が検査			きる。												
					検査証明書等1			ーしょうかきすっても	7											
					水処理等が適り そ件に適した運搬					- 4の機種	6 美	+:+ 笠 '夾'	m.ı.—							
			000-11		ミ汁に廻しに運が できる。(寒中及)時のハイノ	レーダの機性	E、食土,	ク	بارل <u>ر</u>							
		1			り込み、据え付				(確認できる											
				管路等に漏水		17 41 - 1 73	17TEC 1	A 2 CO "OCCA	HEDIO CC.O	0										
					見好であることが	確認できる	Do													
					設を適切に行っ			きる。												
			9管基礎	、埋戻しの締	固めを適切な条	件で施工し	ているこ	とが確認できる	Do											
			G HIII SEC 10		げられていること															
			O 12-0 11-0		バ、プラント出荷					・記録されて	いる。									
			O 1-111 AF 1 IF 1		バ、定められた象				5.											
			O-m		こが適切に施工	、管理され <i>た</i>	たことがる	確認できる。												
			4000000000000000000000000000000000000	(埋田																
												1	評価対象	項目が当	核工事に	おいて評価の対象	となる場合	には「タ	け象」欄の□Ⅰ	こ「レ」印を
																い場合は空欄とする				
																ヽて該当する場合に 数を分母として比例				する。
)/評価対象項目		Сетіш	3 0	
																目以下の場合は				
												6	また、文書	書による改	善指示を	行った場合には、	上記評価に	よらずっ	、e評価とす	る。
													判断表	比维	l		ı			
												ſ	13-51-5			lď	らつきで判断	所可能		判断
																50%以下	80%以下	F 8	0%超える	不可能※
														90% 75%以上	以上 -an% +3	a 菌 a`	a` b		b)	b,
													評価値	60%以上			p,		c	6
															未満	p,	С		С	С
													※ 試!	験結果の打	「点数等/	が少なく(原則3点:	未満)ばらつ	ぎの判	折ができない	場合
															ĺ					

桳杏昌

考 査 項 目	細別		a		a`			b		b`		c			d			e
3. 出来形及び出来ば		品質	[関係の試験	結果のばらつ	きと評価対象項	頁目の履行り	犬況(評	価値)から判断で	する。<判断基準	隼参照>	•				質関係の測定			係の測定方
え	下水道工事(推		[関連基準、	土木工事施工	L管理基準、そ	の他設計図書	書に定る	められた試験]							は測定値がる			測定値が不
Ⅱ. 品質	進)		ばらつきた	が50%以下	□ ばらつきた	が80%以下		ばらつきが80%	を越える。又は	試験結果の打	点数等が少な).i			あったため、『			あったため、
4420					折は別紙1参照			(原則3点未満)							文書で指示を	E行い		が修補指示を
		対象 判定		0. 3 - C 07 1H	V110-733112V : 5 7110			(MXXIO MXXIVIII)	10.7 2 5 67 110	170 CC 60 - 50	Н			改訂	善された。		行った	>
		NIT ARIA																
			3-5 +		+b □ 55 ± £ 5 ± 6 ±		: T\$r=₹1	-t. 7										
					格、品質が検査			: පිතං										
					検査証明書等			- 1 /37557 1										
								ことが確認でき										
								と入高さ、締固め	時のバイブレー	·タの機種、養殖	生方法等、適	切に						
		_			きる。(寒中及													
						け等に十分活	注意を	払っていることが	確認できる。									
			⑥人孔、管	管路等に漏水:	がない。													
			⑦測量及	び観察結果を	毎日整理し、そ	れに基づい	た施工	が行われている	ことが確認でき	る。								
								ことが確認できる										
			9推進作	業等のデータ	が確認できる。				. •									
					理状況がデー		5A.											
			®-Ош-х		し、締固めを通			ている										
								i設時、交通開放	中生で敷田.記	母されている								
			O 12-0 11-0					ことが確認できる		多くなっている。	0							
								ことが推認できる	0									
			O 100 100		、管理されたこ	ことが唯能でき	≥ຈ.											
		⊔ ⊔	⑮その他	(埋田														
												5T/T-1145-7	E - 12 W =+		一年年の日本	1 4c 7 4B A (=)	LT LL 42188 or	mu-fu im+
															て評価の対象 合は空欄とする		は 対象 欄 0.	口にレゴ印を
															ョは至懶こりる 核当する場合は		コルー「し、」にのたか	31+2
											"				分母として比例			LX 9 %
															评価対象項目数		111111111111111111111111111111111111111	
															人下の場合はcl			
											6	また、文書	による改善	指示を行っ	た場合には、上	記評価によ	らずd、e評価	とする。
													1			1		
												判断:	100.000			I		
												▼ +1 的 :	基华	1	1£	らつきで判断	可能	判断
														F	50%以下	80%以下	80%超え	
													90%	6以上	a	a,	b	b
												評価値	75%以上	90%未満	a`	b	þ,	p,
												5#1001E	60%以上	75%未満	b	þ,	С	С
														6未満	p,	С	С	С
												※ 試	験結果の打	「点数等が少	りなく(原則3点 :	未満)ばらつき	の判断ができ	ない場合

桳杏昌

考査項目	細別	П	a	П	a`	П	b	П		b`	П	С		П	d		П	e
3. 出来形及び出来ば	,		質関係の試験	結果のばらつきと	·評価対象項目(評価値)から判断す								品質関係の温	則定方法		<u>。</u> 系の測定方
え	管渠更生工事	H		土木工事施工管:				. 00 11	1414-P	,					スは測定値が		法又は	則定値が不
Ⅱ.品質	(製管工法)						ばらつきが80%	た批ラス	女/士試験	終生の打る	物生か	シルナン			であったため			らったため、
4. 叫具	(X6-A)			ばらつきの判断は		70% I —						7741			が文書で指え		検査員7	が修補指示を
		44.6 W		よりフさの中国に	<u> 列和 1 参照</u>		(原則3点未満)	はりつさ	の判断が	じさない場合	<u> </u>				火善された。		行った。	
		対象半		0 +0 +b 1 2 > >	. **-T*===-+	7												
				の規格がミルシー								_						
				浄や劣化部除去た			_										には「対象」欄の[]に「レ」印を
				とという とうしょ とうしょ とうしょ とうしょ とうしょ (機能) のキャリブレ											易合は空欄とす			
							一値等が確認でき	る。									の口に「レ」印を記	人する。
				材注入の圧力等が	が施工記録によ	り確認できる	•								を分母として比 /評価対象項目		で評価9る。	
			□ ⑥裏込め	材の供試体が当詞	亥現場のもので	あることが確認	認できる。								/計画対象項目 引以下の場合は			
			□ ⑦その他	(理由))											。 よらずd、e評価と	ta
												@ &/2\ \	= 1C & & & A	31047611	772-99 E TC16.	. <u> ncar imire</u>	S. J y G C C C I I III C	, 0.
												判断	基準					
																(らつきで判断		判断
															50%以下	80%以下		不可能※
													90%		a	a`	b	b
												評価値	75%以上	90% 木満 75% 未満	a`	b)	p,	þ,
													60%			6	C	C
												* lit					きの 判断ができな	
													W. 4 2 1 1 1 2 1 3	I				
ŀ	細別		a		a`		b			b`		c			4	+		e
	小田 刀寸						評価値)から判断す			-					品質関係の温	即中七注		<u>・</u> 系の測定方
	防食工事	DE.		土木工事施工管				<i>a</i> ∘ ∨+	刊剧基华多	· !!! /					は測定値が			ポの例定力 則定値が不
	例及工事						ばらつきが80%	★. ±ポラ Ζ	∇ (+=+E4	金年田 のける	米ケム	: //>/			であったため			うったため、
				パ30%以下 ロ ばらつきの判断は		70以下 山	(原則3点未満)					シタイ			が文書で指え			が修補指示を
		対象 半		よりフさの中間に	<u> 列和 1 多</u> 照		(原則3.尽不何)	はりフさ	の十回と	じさない場合	-			- 2	枚善された。		行った。	
				187444	1 T 18/8 > 1- 1	7 	L , 7 1 /27m=3											
			□ ①劣化部	か健全なコンクリー	ート囬か待られる	るまで除去され	れていることが確認	3 でさる。										
			□ ②劣化部	除去時の超高圧を	水の水圧が確認	できる。												
				復材の品質が適宜			_											
				復工の接着強さか										l				
				整材やプライマー			笙認できる。										には「対象」欄の口	に「レ」印を
				覆材の品質が適エ	Eであることが罹	笙認できる。									場合は空欄とす			
				覆工施工時の環境	竟が適正である	ことが確認で	きる。										り口に「レ」印を記ん	へする。
			□ ⑧防食被	覆工の接着強さか	「適正であること	:が確認できる	5.								を分母として比り ・評価対象項目		ご計1回9 る。	
			□ 9その他	(理由)									以下の場合は			
																	。 よらずd、e評価とす	ra.
												判断	r cer	l		I		
												● 判断法	5.华		1±	らつきで判断	行可能	半世折
														-	50%以下	80%以下		
													90%.	以上	a	a`	b	b
												評価値	75%以上9		a`	b	þ,	p,
												0+1111111111111111111111111111111111111	60%以上7		b	p,	С	С
													60%:		p,	C	6	6
												※ 試	験結果の打	点数等が少	>なく(原則3点	未満)ばらつき	きの判断ができない	\場合
														l		I		

考查項目	細別		a		a`		b		b`		С		d	e
3. 出来形及び出来ば え	上記以外の工事	□ <a>	対象工事が	がばらつきによる訳	平価が不適切な工 ^薬	<u> </u>	〈B> 対象工事がば	っつきによる評価が	「適切な工事	· -			品質関係の測定方法 又は測定値が不適切	品質関係の測定方 法又は測定値が不
Ⅱ. 品質	又は合併工事	[B	関連基準、± ばらつきが5	木工事施工管	理基準、その他語 ばらつきが80%	役計図書に	(評価値)から判断で 定められた試験] 」 ばらつきが80% (原則3点未満)		試験結果の打り				であったため、監督員 が文書で指示を行い 改善された。	適切であったため、 検査員が修補指示を 行った。
		対象 判定												
			理由	()				
			理由	()				
			理由	()				
			理由	(]				
			理由	ĺ]				
			理由	(]				
			理由	ĺ]				
			理由	()				
		·該当項目 ·該当項目 ·該当項目 ·該当項目 ·該当項目	が90%以上・ が80%以上9 が70%以上8 が60%以上7 が60%未満・	きによる評価がイ a, 10%未満・・・・・ョ 10%未満・・・・-b' c, 目以下の場合は		① 評価 記入 ② 「レ. ③ 対象 ④ 評価 ⑤ なお	対象工事がばらつき 西対象項目が当該工事 は、評価の対象をはつ り即を記入した項目に を欄に「レ」印のある項目 面値(96)=該当項目数が2: 、 文書による改善指示	こおいて評価の対象 い場合は空欄とする いて該当する場合は 数を分母として比例 ()/評価対象項目 項目以下の場合は。	となる場合には「 。 :「判定」欄の口に 計算の値で評価 数() 評価とする。	「レ」印を記入する。 する。		評価値		 削断可能 以下 80%超える b b' C C

		a	h	C	快宜」
考査項目	エ 種	 優れている	やや優れている	 他の評価に該当しない	劣っている
出来形及び出来	コンクリート構造物工	●該当する項目の□に「レ」印を記入する。			●判断基準
ばえ	事	□ ①コンクリート構造物の表面状態が良い。			該当5項目以上・・・a
	砂防構造物工事	□ ②コンクリート構造物の通りが良い。			該当4項目······b
出来ばえ	トンネルエ事	□ ③天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。			該当3項目・・・・・c
H7/11072		□ ④クラックが無い。			該当2項目以下・・・d
		□⑤漏水が無い。			21-7121
		□ ⑥全体的な美観が良い。			
	土工事	●該当する項目の口に「レ」印を記入する。			●判断基準
	(盛土・築堤工事等)	□①仕上げが良い。			該当4項目以上・・・a
		□②通りが良い。			該当3項目・・・・・b
		□ ③天端及び端部の仕上げが良い。			該当2項目・・・・・c
		□ ④構造物へのすりつけなどが良い。			該当1項目以下···d
		□ ⑤全体的な美観が良い。			KJ ALVI U
	土工事	●該当する項目の口に「レ」印を記入する。			●判断基準
	(切土工事)	□ ①規定された勾配が確保されている。			該当5項目以上・・・a
			き石が除去されているなど、適切に施工されている。		該当4項目······b
		□ ③法面勾配の変化部について、干渉部を			該当3項目······c
		□ ④滞水などによる施工面の損傷が発生し			該当3項目以下···d
		□ ⑤関係構造物等との取り合いが設計図書			該当2項目以 [t····d
		□ ⑥全体的な美観が良い。	で何たりるよう他上されている。		
	謹岸。根因。水制工事	■			●判断基準
	设件"似凹"小则工争	■該当りる項目の口に「ひ」印を記入りる。 □ ①通りが良い。			●刊剧泰华 該当4項目以上・・・a
		□ ① 団ゅからい。 □ ② 材料のかみ合わせがよく、クラックが無			
		□ ③天端及び端部の仕上げが良い。	, ₀		該当3項目······b
					該当2項目······c
		□ ④既設構造物とのすりつけが良い。			該当1項目以下···d
		□ ⑤全体的な美観が良い。			
	鋼橋工事	●該当する項目の□に「レ」印を記入する。			●判断基準
		□ ①表面に補修箇所が無い。			該当4項目以上···a
		□ ②部材表面に傷及び錆が無い。			該当3項目······b
		□ ③溶接が均一である。			該当2項目······c
		□ ④塗装が均一である。			該当1項目以下···d
		□ ⑤全体的な美観が良い。			
	地すべり防止工事	●該当する項目の□に「レ」印を記入する。			●判断基準
		□ ①地山との取り合いが良い。			該当3項目以上···a
		□ ②天端、端部の仕上げが良い。			該当2項目······b
		□ ③施工管理記録などから不可視部分の出	来ばえの良さが伺える。		該当1項目······c
		□ ④全体的な美観が良い。			該当0項目以下···d

			h.	С	
考査項目	エ 種	a 優れている		せい で	a 劣っている
出来形及び出来	舗装工事	●該当する項目の口に「レ」印を記入する。	1 1 12 10 00		判断基準
ばえ		□ ①舗装の平坦性が良い。			該当5項目以上・・・a
		□ ②クラック等がなく、表面の仕上がりが良し	Λ.		該当4項目······b
出来ばえ		□ ③継ぎ目及び端部処理が良い。			該当3項目・・・・・c
шуктоле		□ ④構造物へのすりつけ等が良い。			該当2項目以下···d
		□ ⑤雨水処理が良い。			W154171 G
		□ ⑥全体的な美観が良い。			
	<u></u> 法面工事	●該当する項目の口に「レ」印を記入する。			判断基準
	/	一 (1)通りが良い。			該当3項目以上···a
		□ ②植生、吹付等の状態が均一である。			該当2項目······b
		□ ③端部処理が良い。			該当1項目······c
		□ ④全体的な美観が良い。			該当0項目以下···d
		日の主体的な失戦が及い。			該当O項目以下・・・d
	 基礎工事及び地盤改	 ●該当する項目の口に「レ」印を記入する。			●判断基準
	良工事	□ ①土工関係の仕上げが良い。			該当3項目以上・・・a
		□ ②通りが良い。			該当2項目・・・・・b
		□ ③端部及び天端の仕上げが良い。			該当1項目・・・・・c
		□ ④施工管理記録などから不可視部分の出	ままばえの良さが伺える。		該当0項目以下···d
		※ 地盤改良において、出来ばえが判断で			200-200
	コンクリート橋上部エ	 ●該当する項目の口に「レ」印を記入する。			■判断基準
	事	□ ①コンクリート構造物の表面状態が良い。			該当5項目以上···a
	(PC及びRCを対象)	□ ②コンクリート構造物の通りが良い。			該当4項目······b
		□ ③天端及び端部の仕上げが良い。			該当3項目・・・・・・c
		□ ④支承部の仕上げが良い。			該当2項目以下···d
		□⑤クラックが無い。			
		□ ⑥全体的な美観が良い。			
	塗装工事	●該当する項目の□に「レ」印を記入する。			判断基準
	(工場塗装を除く)	□ ①塗装の均一性が良い。			該当4項目以上・・・a
		□ ②細部まできめ細かな施工がされている。			該当3項目・・・・・b
		□ ③補修筒所が無い。			該当2項目・・・・・c
		□ ④ケレンの施工状況が良好である。			該当1項目以下···d
		□ ⑤全体的な美観が良い。			Markay 1
	公園工事	■該当する項目の口に「レ」印を記入する。			●判断基準
		□ ①土工(舗装)の仕上げが良い。			該当4項目以上・・・a
		□ ②構造物等へのすりつけが良い。			該当3項目······b
		□ ③施設構造物等の肌、通り、納まり等仕上	- げの状態が良い。		該当2項目・・・・・c
		□ ④遊戯施設等の取付けが利用者に配慮さ			該当1項目以下···d
		□ ⑤遊具等が良好に作動する。			10 - 1 - 1 - G
		□ ⑥全体的な美観が良い。			

	1		1.	_	快宜貝
考査項目	工 種	<u>a</u> 優れている		c 他の評価に該当しない	g 劣っている
3 出来形及び出来		■該当する項目の口に「レ」印を記入する。	でで変れている	他の計画に該当しない	 ●判断基準
ばえ	(橋脚補強、耐震補	□ ①小構造物等にも注意が払われている。			→刊刷率年 該当3項目以上・・・a
	強、落橋防止等)	□ ②きめ細かな施工がなされている。			該当2項目······b
Ⅲ 出来ばえ		□ ③既設構造物とのすりつけが良い。			該当1項目・・・・・・c
ш дуктоле		□ ④全体的な美観が良い。			該当O項目以下···d
	電線共同溝工事				●判断基準
	电脉共归海上争	●該当する項目の□に「レ」印を記入する。)勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保さ	h ブルフ	●刊断基準 該当3項目以上・・・a
		□ ①プロ及び早垣の舗装(含、収復旧舗装)0 □ ②プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつき		んしいる。	該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・・・b
		□ ② ルキャペトコンケリードノロックの蓋に、かたこうさ □ ③施工管理記録などから、不可視部分のと			該当2項目・・・・・・c 該当1項目・・・・・・c
		□ ④全体的な美観が良い。	日本味んの氏でが何んる。		該当「項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		□ ④主体的な天観が良い。			該当U項目以下・・・a
	ほ場整備工事	●該当する項目の□に「レ」印を記入する。			●判断基準
	(暗渠排水工事のみ	□ ①均平度が良い。			●刊断基準 該当6項目以上・・・a
	行う場合を除く)	□ ①均平度が良い。 □ ②土工の仕上げが良い。			該当6項目以工・・・a 該当4、5項目・・・・・b
		□ ②エエの仕工げが良い。			該当4、3項目・・・・・・c
		□ ④土工の通りが良い。 □ ④土工の構造物等のすりつけが良い。			該当2項目以下···d
		□ ⑤用、排水路のとおりが良い。			欧马Z农日以 I G
		□ ⑥コンクリート構造物のとおりが良い。			
		□ ⑦全体的な美観が良い。			
	ほ場整備工事	●該当する項目の□に「レ」印を記入する。			●判断基準
	(暗渠排水工事のみ行う場合)	□ ①吐き出し部が入念に施工されている。			該当3項目以上···a
	1]フ塚ロ/	□ ②付帯明渠等の仕上げ、通りが良い。			該当2項目・・・・・b
		□ ③埋め戻しが入念に施工され、凹凸がなく			該当1項目······c
		□ ④施工管理記録簿等から不可視部分の出	l来ばえが高く評価できる。		該当0項目以下···d
	管水路工事	●該当する項目の□に「レ」印を記入する。			●判断基準
		□ ①管の通りが良い。			該当4項目以上···a
		□ ②付帯コンクリート構造物の肌が良い。			該当3項目······b
		□ ③付帯コンクリート構造物の通りが良い。			該当2項目······c
		□ ④付帯コンクリート構造物にクラックが無い	N _o		該当1項目以下···d
		□ ⑤全体的な美観が良い。			

考査項目	工種	a	b	С	校直員 d
	·-	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
. 出来形及び出来 ばえ I 出来ばえ	フィルダム、ため池工 事	●該当する項目の□に「レ」印を記入する。 □ ①土工の仕上げが良い。 □ ②土工の通りが良い。 □ ③土工の構造物等へのすりつけが良い。 □ ④吹付(植生、コンクリート等)の状態がち □ ⑤コンクリート構造物の肌が良い。 □ ⑥コンクリート構造物の通りが良い。 □ ⑦天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 □ ③漏水が無い。 □ ⑪施設の通りが良い。(排水側溝、フェン) □ ⑪全体的な美観が良い。	フーである。		●判断基準 該当9項目以上・・・a 該当7、8項目・・・・・・b 該当6項目・・・・・・c 該当5項目以下・・・d
	コンクリート二次製品 水路工事(上型、ボックスカルパート、ブロック積み水路等)	●該当する項目の□に「レ」印を記入する。 □ ①土工の通り、仕上げが良い。 □ ②コンクリート構造物等の通りが良い。 □ ③天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 □ ④材料の連結、かみ合わせ等が良い。 □ ⑤既設構造物等とのすりつけが良い。 □ ⑥施設の通りが良い。(排水側溝、フェンス) □ ⑦全体的な美観が良い。	ス等)		●判断基準 該当6項目以上・・・a 該当4、5項目・・・・・b 該当3項目・・・・・c 該当2項目以下・・・d
	下水道工事(開削)	●該当する項目の□に「レ」印を記入する。 □ ①通りが良い。 □ ②管口に偏平がなく仕上がりが良い。 □ ③傷やクラックが無い。 □ ④人孔天端と路面のすりつけが良い。 □ ⑤人孔、インバートの仕上げが良い。 □ ⑥舗装の仕上げが良い。 □ ⑦全体的な美観が良い。			●判断基準 該当6項目以上・・・a 該当4、5項目・・・・・b 該当3項目・・・・・c 該当2項目以下・・・d
	下水道工事(推進)	●該当する項目の口に「レ」印を記入する。 □ ①通りが良い。 □ ②管口に偏平がなく仕上がりが良い。 □ ③傷やクラックが無い。 □ ④人孔天端と路面のすりつけが良い。 □ ⑤人孔、インバートの仕上げが良い。 □ ⑥舗装の仕上げが良い。 □ ⑦全体的な美観が良い。			●判断基準 該当6項目以上・・・a 該当4、5項目・・・・・b 該当3項目・・・・・c 該当2項目以下・・・d

考查項目	工種	a	b	c	d
万旦坝口	上 作	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来 ばえ Ⅲ 出来ばえ	管渠更生工事 (製管工法)	●該当する項目の□に「レ」印を記入する。 □ ①更生管の変形・浮上・不陸が無い。 □ ②更生管の施工箇所上下流の既設管との □ ③管口や端部の仕上げが良い。 □ ④浸入水が無い	すりつけが良い。		●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・・・・b 該当1項目・・・・・・c 該当0項目以下・・・d
	防食工事	●該当する項目の□に「レ」印を記入する。 □ ①断面修復が平坦で、浮きやひび割れが □ ②素地調整が平坦密実に仕上げられてい □ ③プライマーが均一で欠陥なく塗布されて □ ④塗布型防食にあっては、ピンホール試影 □ ⑤防食被覆が平滑で、樹脂硬化不良が無	。 る。 いる。 を実施し、欠陥が無い。		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・・・b 該当2項目・・・・・・c 該当1項目以下・・・d
	上記以外の工事又 は合併工事	●該当する項目の□に「レ」印を記入する。 □ 理由: □ 理由: □ 理由: □ 理由: □ 理由: □ 理由:			●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・・b 該当2項目・・・・・c 該当1項目以下・・・d
		※ 合併工事は、該当工種からの評価対象	東項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5	5項目とする。	